

和歌山工場に防災兼用型ソーラーカーポート設置

当社は、鋼構造物の製作・施工を通じ社会インフラを支える企業として、地球環境保全を経営の重要課題と認識し、持続可能な社会の実現に積極的に取り組んでいます。

日本政府による 2050 年のカーボンニュートラル宣言を踏まえ、事業活動における環境負荷低減に加え、事業継続計画(BCP)の強化、そして地域社会への貢献を目指し、以下の施策を実施いたしました。

(1) 社員駐車場へのソーラーカーポート設置

「再生可能エネルギー」である太陽光発電を最大限活用し、化石燃料(石油、天然ガスなど)由来のエネルギー消費量削減を図ります。



- **発電量の確保と有効活用**

既存の駐車スペースを有効活用し「ソーラーカーポート」を設置。発電電力は工場内電力として活用し、電力会社からの購入電力量削減と CO2 排出量削減に貢献します。

(最大使用電力の 12.8%に相当)

- **社員への福利厚生**

車を日差しや雨から守り、職場環境向上にも繋がります。

- **環境意識の啓発**

日常的に再生可能エネルギーを意識する機会を創出し、環境保全への意識向上を図ります。



(2) 事務所屋上への大容量蓄電池設置

電力の有効活用、ピーク電力抑制、そして災害時のBCP対策強化を図ります。

- **電力の有効活用**

ソーラーカーポートの発電電力を蓄電し、電力需要ピーク時に活用することで、電力コスト削減と電力負荷平準化に貢献します。

- **非常用電源の確保(BCP対策)**

災害時等の停電時には、蓄電池電力を事務所棟の業務用電源として活用し、事業継続性を確保します。重要な業務機器への電力供給を維持することで、迅速な復旧と事業の早期再開を可能にします。

- **再生可能エネルギー導入の基盤**

今後更なる再生可能エネルギー導入を検討しており、大容量蓄電池はその基盤となります。



(3) 災害時従業員避難場所としての活用と非常用コンセント設置

社員駐車場は災害時の従業員避難場所に指定されており、蓄電池を活用した非常用コンセントを設置することで、災害時の従業員の安全確保に貢献します。

- **非常用電源の提供**

停電時、蓄電池から電力を供給する非常用コンセントを駐車場に設置し、携帯電話充電や情報収集に必要な電力を提供します。

- **従業員への安心感提供**

災害時における電力確保は、従業員とその家族に安心感を与え、事業継続への信頼を高めます。

(4) 電気自動車充電設備の設置と社有車の電気自動車化

環境負荷低減と将来を見据えた取り組みとして、電気自動車充電設備を4基設置し、社有車を順次電気自動車に置き換えていく予定です。

- **CO2排出量削減**

社有車の電気自動車化により、走行時のCO2排出量を大幅に削減します。

(5) 地域との連携と災害時における設備開放

今後は地域自治体や防災組織と連携し、災害時にはソーラーカーポートと蓄電池設備を地域住民に開放することで、地域防災に貢献することを目指します。

- **地域貢献**

避難場所としての機能に加え、電力供給を通して地域住民の生活を支援し、地域防災力向上に貢献します。

- **地域との連携強化**

自治体や地域防災組織と連携し、災害時の電力供給体制や避難誘導體制などを整備することで、より効果的な災害対策を実現します。

当社は今後も、環境負荷低減、事業継続性の強化、そして地域社会への貢献に向けた取り組みを積極的に推進し、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。